提言書

30年後の同胞への
メッセージ

一般社団法人 岡山経済同友会

30年後に100周年を迎える同胞へのメッセージ

「われわれ人類にとって確実に予測できる未来はない。しかしながら、人類の歴史は創造の歴史であり、われわれは、ものづくりに励み、文化性を高め、高度な社会を創り出してきた。この営みは永続的であり、創造し続けることは確実に予測できる。30年後に100周年を迎える（一社）岡山経済同友会の同胞が明るい未来に向かって、行動する提言集団として活発な活動を通じ、この「岡山」から世界に発信し、持続可能な社会の実現に向けて貢献し続けていることを、心から祈念する。」

（一社）岡山経済同友会は、昨年2017年に創立70周年を迎え、5月22日に記念式典を開催した。原丈人氏の基調講演では「公益資本主義」をテーマとして、現在の行き過ぎた金融資本主義の反省と新たな資本主義の方向性を模索した。また、2016年4月14日、15日には、岡山で全国セミナーを開催し、過去最大の規模となる1400名を超える同友会の会員の参加を得、「世界に輝く地域を創ろう～桃太郎の郷（くに）から発進～」をテーマとして、基調講演はビル･エモット氏による「『地域』から日はまた昇る」であった。折りしも同月14日21時26分、熊本で震度7を観測する大地震が発生し、多発する天変地異への脅威は高まる一方である。

さて、われわれは、70周年という節目を迎えるにあたって、郷土「岡山」が世界に輝く地域になるためには長期的な展望を持つ必要があると考え、30年後に100周年を迎える同胞へのメッセージを書き留めることにした。多方面に亘って検討したものの、30年後の郷土「岡山」の具体的な姿は予測できず、そうあってもらいたいという観念的なメッセージが中心となったが、加えて、現段階で我々が取り組まなければならない要素について、次の通り前提条件たる基盤を3つに整理した。

まず、岡山が他地域に比べて地理的･気候風土的に恵まれた基盤を持っていることは特筆すべき点であり、例え南海トラフ大地震などの大災害が起こったとしても、30年後も揺るぐことのない優位性であると考える。この上で、地域経済力については郷土「岡山」を「桃太郎の郷（くに）」という一つの国として想定し、持続可能な自立型･循環型地域経済の確立への取り組みが必要不可欠と考えた。また、地域人財力については、「桃太郎の郷（くに）」としての誇りと気概を持ち、社会的課題解決に率先して挑む人材の育成を訴えた。さらに、地域文化力については、「桃太郎の郷（くに）」のブランド化を目指し、豊かな気候風土で育まれた地域文化の継承と発信をする発信力と求心力を持たなければならないことを提言した。

日本国今上天皇が2019年（平成31年）4月に御退位され、同年5月1日からは新元号による新たな時代がスタートしているだろう。アメリカのトランプ大統領、中国の習近平国家主席、ロシアのプーチン大統領、そして北朝鮮の金正恩最高指導者等の保護主義、覇権主義、独裁体制が30年後にどのようになっているか、そのような国際関係の中で日本国がリーダーシップをとって活躍し、溌剌とした平和な世界を切り開いていて欲しい。そして、30年後も郷土「岡山」が真に豊かな成長の途上にあることを、大いに期待いたしたい。

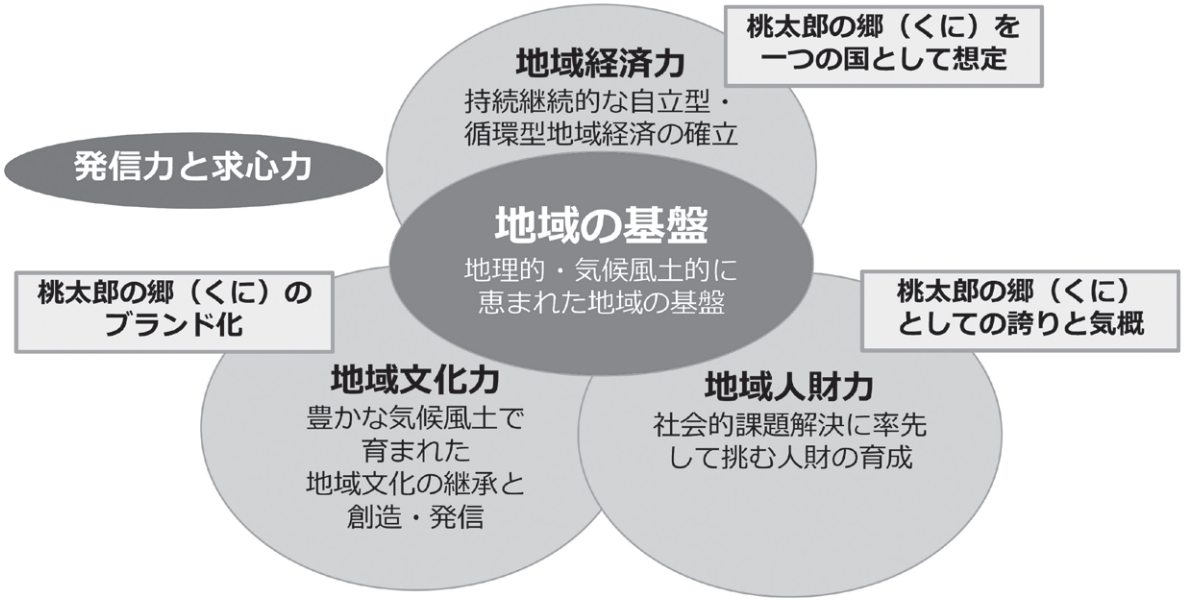
30年後の提言に向けた時代背景

- 岡山経済同友会の歩んだ70年間、我が国は戦争のない平和を前提とした時代
- 今や戦争を経験した第一線の経済人は皆無に等しい
- 戦後の冷戦体制からアメリカ１極の時代を経て、群雄割拠の時代に
- 地域の覇権的思惑、国の顔を持たない組織のテロ犯罪の脅威

- 阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震をはじめ集中豪雨等の予想外の天変地異
  ⇒南海トラフ地震・中央構造線直下地震による津波等の被害発生の可能性
- 少子高齢化、生産年齢人口減少・国内市場縮小の一層の進展

- インターネット出現による情報通信環境の激変
- ＡＩ・ＩｏＴ・ロボットをはじめとしたＩＣＴ技術やドローン･３Ｄプリンター･宇宙技術等による産業の劇的進化・産業構造の劇的変化
- ポスト資本主義のベクトルとして、経済活動にも今後は公益性が求められる
  ⇒2030年に向けて17の目標と169のターゲットからなる民間企業も含めた「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」がアジェンダとして国連で採択された
  ⇒2005年ＲＣＥ（ＥＳＤ推進地域拠点）に認定され、 2017年「ＳＤＧｓの達成に向けた第1回世界会議」の開催地になるとともに、岡山大学が第1回「ジャパンＳＤＧｓアワードパートナーシップ賞」を受賞する等、岡山地域での「ＳＤＧｓ」への積極的・先進的な取り組みの必要性が高まる

世界から注目されるモデル地域「桃太郎の郷（くに）」の確立に向けて

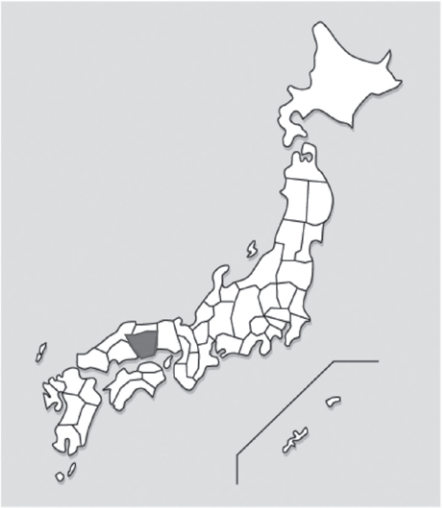


どのような苦難が待ち受けていたとしても、決して挫けず、岡山を愛し岡山の強みを自覚して、高く羽ばたく

- 多様な意見を集約し、積極的に政策提言を行い、強いリーダーシップで実行する産官学金言（産業・行政・教育・金融・報道）の連携を強化する
- 既成概念を捨て、革新を恐れず、新たな価値観を創造する

確固たる地域の基盤　地理的･気候風土的に恵まれた地域の基盤

●北は大山・蒜山・中国山地、南は瀬戸内海・四国山地に囲まれた温暖で穏やかな気候風土
●災害の少ない地域特性
　震度４以上の地震発生が少ない方から全国３位
　降水量１mm以下の日数が全国一多い
●旭川・高梁川・吉井川の三大河川による豊かな水資源
●豊かな森林資源
●高原地帯と広い平野
●三大河川が流れ込む穏やかな瀬戸内海
●東西南北の交通の要衝という立地環境
●古代から稲作・製鉄・製塩等の産業の隆盛
●豊かな環境によって育まれた多くの人財の輩出



●地の利を活かした地域の発展基盤の活用

<桃太郎の郷（くに）は豊かな国>
●国内外に向けたネットワークのハブとしての機能の確立（南北への新幹線の延伸・空路の活性化）
●豊かな資源を十二分に活かした展開
●恵まれた気候風土を活かした安全で安心な住みやすい地域づくり

安全性・利便性・豊かな環境等
岡山は国の中核機能を担える地域

地域経済力　持続継続的な自立型・循環型地域経済の確立

●少子化・高齢化の同時進行⇒過去に経験したことのない未知の世界
　岡山県人口も2005年をピークに減少
　岡山県平均寿命（2015年）　男性81.03歳（全国13位）・女性87.67歳（全国2位）
　社会保障費用の増加
●新興国の人口増加・経済発展⇒化石エネルギーの枯渇・環境問題

●充実した交通基盤
●高付加価値の果実の生産他ものづくりへのこだわり
●人口10万人あたり医師数全国第５位（2016年末時点）・県下医学部2校体制と充実した医療体制
●食料自給率（カロリーベース）2016年度全国38%、2015年度岡山県36%

●ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）＝経済成長、社会的包摂、環境保護をベースに地域生活を支えていくための、持続継続的な自立型・循環型地域経済基盤の確立

<岡山県「桃太郎の郷（くに）」が一国として独立した場合を想定>
●一次産業の自給率100%以上に、余剰は海外へ＝水と食料安全保障の適切な確保と耕作放棄地の活用
●二次産業・三次産業の従事者増とＡＩ・ＩｏＴ活用による生産性の向上
●再生エネルギー体系・効率的交通体系の整備＝コンパクトシティ＆ネットワーク
●本質を追求した高品質商品・ハイレベルサービスの提供による付加価値創造
●充実した交通網を活用した定住人口・交流人口の増加と産官事業主体の流入
　⇒さらに太平洋・瀬戸内海・日本海を結ぶ整備新幹線で岡山が東京・大阪に次ぐ西日本のハブ基地に
　⇒ドローン・宇宙技術等による空を活用した輸送開発
●医療ネットワークを活用したヘルスケア産業の育成
●女性・高齢者をはじめ持続継続的な自分らしさを活かした生涯就労機会（社会との関わり）の創出
●起業するのに魅力的な地域づくり⇒県外者も含め岡山県での起業を支援する体制づくり
　⇒岡山大学コンソーシアムを中心とした、社会課題解決イノベーション・プラットフォームの確立
　⇒産官学金言一体となったファンド形成と起業指導体制、ミーティング・サロンの整備
　⇒オール岡山体制での「イノベーション・プロジェクト」の充実と活性化
●直接的なグローバルマーケットへの情報発信による直販力の確立

地域文化力　豊かな気候風土に育まれた地域文化の継承と創造・発信

●津山の洋学・岡山藩医学館をはじめとした古くからの先進的な医療への取り組み
●岡山大学医学部・川崎医科大学、県下医学部２校体制
●石井十次・旭川荘・ＡＭＤＡ等福祉に対しても深い理解
●閑谷学校・山田方谷・津山の洋学をはじめ学ぶことに熱心
●ESD（持続可能な開発のための教育）への積極的な取り組み
●ミシュランガイド三ツ星の「後楽園」をはじめ「倉敷美観地区」「岡山城」「大原美術館」「国分寺五重塔」「吉備津神社」「閑谷学校」「津山洋学資料館」「頼久寺庭園」等の多数の文化施設、「西大寺会陽」をはじめとする祭
●サッカーでは「ファジアーノ岡山」「岡山湯郷ベル」「吉備国際大学シャルム岡山高梁」バレーボールでは「岡山シーガルズ」、陸上では「天満屋陸上部」の活躍さらに車椅子陸上の「グロップサンセリテWorld-AC」をはじめとした障害者スポーツチームが活躍する地

●災害が少なく豊かな気候風土が育んだ文化度の高い地域特性の継承と創造・発信

<桃太郎の郷（くに）のブランドの確立>
●ＩＨＮ(統合ヘルスケアネットワーク)構築による安心な地域づくりと産業界にも影響を与える医療コストの削減
●南海トラフ地震・中央構造線直下地震、その他の危機に備えた国際機関連携型ＢＣＰ（事業及び業務継続計画）体制の構築
⇒「西のジュネーブ・東の岡山」の確立
⇒有事に対する個々の自主的問題解決能力の育成
●地域の歴史・文化等の教育と中高生の地域活動への参画による地域課題解決に向けた実践型教育
●ＥＳＤの拠点としての継続的国際会議の開催
●対話の基となる基礎学力の向上と創造性を育む対話力の向上（グローバル人財育成）
●地元スポーツチームの成長支援を通じた地域住民の結束力の強化
●県外から来られた方々との積極的交流の場の整備

地域人財力　社会的課題解決に率先して挑む人財の育成

●地政学的リスクの増大
●グローバリズムとナショナリズムの鬩ぎ合い
●ポスト資本主義の模索、公益資本主義へ
●ダイバーシティ社会の到来
●オープンイノベーション＝共創社会へ

●岡山県人の「本質を追求する学びの心」
●岡山県の豊かな自然が育んだ各種産業
●新たな取り組みに積極的に臨む「進取の気性」
●古代から形成された伝統文化
●恵まれた環境から生まれた奉仕の精神
●政治・経済・文化各方面への岡山人財の輩出
●人口10万人当たりの大学数全国第4位

<時代をリードした岡山県の主な人物>
・歴史上の政治家
吉備真備・和気清麻呂・山田方谷
・首相経験者
犬養毅・平沼騏一郎・橋本龍太郎
・学者
緒方洪庵・箕作阮甫・宇田川玄随・仁科芳雄
・画家
雪舟・浦上玉堂・児島虎次郎・竹久夢二
小野竹喬・国吉康雄
・経済界
美土路昌一・岡崎嘉平太・土光敏夫・田淵節也
坂田久五郎・矢野恒太・野崎武左衛門
大原孫三郎
・作家
坪田譲治・内田百閒・柴田錬三郎・吉行淳之介
・宗教家
栄西・法然・金光大神・黒住宗忠
・社会活動家
石井十次・留岡幸助

●経済人として揺るがぬ精神を持ち、次代の社会的リーダーとなる人財を育成

<桃太郎の郷（くに）としての誇りと気概>
●中四国のリーダーとしての気概
●県域を超えた相互扶助の精神
●郷土に対する自信・誇り・愛着、帰属意識の醸成
●自分らしさを発見、磨き、さらに発揮できる地域体制の確立
●産官学金言一体となった小中高を通じた起業意識・チャレンジ精神教育体制の整備
●経済人の耐えざる自己研鑽の推進・生涯学習体制の確立
●県外に出た若者が、岡山県に帰り能力を最大限に活かして活躍できる地域づくり

30年後の同胞へのメッセージ

ワーキンググループ　　H29.12.31 現在

同友会役職名	会員名	企業名	企業役職名
代表幹事	松田　久	両備ホールディングス㈱	代表取締役社長
代表幹事	松田　正己	㈱山陽新聞社	代表取締役社長
理　事	大月　隆行	ランデス㈱	代表取締役社長
理　事	梶谷　俊介	岡山トヨタ自動車㈱	代表取締役社長
理　事	黒住　宗道	黒住教	教主
理　事	清水　男	㈱三松	代表取締役社長
常任幹事	髙橋　淳悦	㈱日本政策投資銀行岡山事務所	事務所長
常任幹事	難波　公司	（一財）岡山経済研究所	理事
常任幹事	藤田　研二	日本銀行岡山支店	支店長
幹　事	伊藤　博則	協同組合岡山情報文化研究所	専務理事

政策委員会

委員会役職名	会員名	企業名	企業役職名
委 員 長	大月　隆行	ランデス㈱	代表取締役社長
副委員長	大塚　祥文	ライフォス㈱	代表取締役社長
副委員長	城口　隆	㈱城口	代表取締役社長
副委員長	藤岡　孝	㈱吉備ケーブルテレビ	代表取締役
副委員長	山本由佳里	㈱アイネット	代表取締役社長
委　員	赤田　博文	㈱赤田運輸産業	代表取締役
委　員	浅見　忠世	ＪＦＥスチール㈱西日本製鉄所	副所長
委　員	石指　和樹	タカヤモーター㈱	代表取締役
委　員	大森　實	昭和被服総業㈱	代表取締役社長
委　員	鴨井　恒夫	カモ井食品工業㈱	代表取締役社長
委　員	川本　洋	税理士法人パートナーズ	代表社員
委　員	近堂　申洋	坂田砕石工業㈱	代表取締役
委　員	外山　啓輔	㈲レックハウス	代表取締役
委　員	長瀬　一成	長瀬石油㈱	代表取締役社長
委　員	中村　貴昭	キリンビール㈱岡山工場	工場長
委　員	藤井　幸治	㈱アカセ木工	代表取締役社長
委　員	藤本　誠一	山陽建工㈱	代表取締役
委　員	宮﨑　隆博	弁護士法人後楽総合法律事務所	弁護士
委　員	村社　勝	㈱三幸工務店	代表取締役
委　員	室賀　康史	室賀ネジ機工㈱	代表取締役
委　員	山本　勉	ビーナスベッド㈱	代表取締役
委　員	米田　光雄	㈱ウッディヨネダ	代表取締役
委　員	渡邉　祐三	ワタナベ工業㈱	代表取締役社長

提言書

30年後の同胞への
メッセージ

発 行 日　2018年（平成30年）3月31日

編集・発行　一般社団法人 岡山経済同友会
岡山市北区厚生町3丁目1−15
TEL(086)222-0051　FAX(086)222-3920
E-mail　okadoyu@optic.or.jp

印刷・製本　山陽印刷株式会社
岡山市北区富吉3098-1